

平成20年度分 公の施設指定管理者実績報告の調査結果について

行財政改革における基本方針の1つとして、行政運営の効率化や市民サービスの向上を図るため、民間委託等の実施により効果が期待できる事務事業については、積極的かつ計画的に民間委託や指定管理者制度の活用を推進するとしていることから、平成21年4月現在で、笠間市における公の施設（83施設）のうち、20施設について指定管理者制度を導入して管理運営を行っています。

この調査は、指定管理者による平成20年度の施設の管理運営が終了したことにより、指定管理者から施設所管課へ提出された事業報告書等を取りまとめたものです。

1. 調査の目的

指定管理者が行っている管理運営が効果的・効率的であり、なおかつ、市民の利便性の向上が図られているかを点検することにより、今後の管理運営をより適正に継続させるとともに、施設の運営状況を公表することにより透明性を確保することを目的としています。

2. 実績報告の調査結果について

指定管理者導入方針の事業評価に関する項目に基づいて実績をまとめました。

(1) 運営状況に関すること【有効活用について】

- ・利用者数が減少した福祉施設については、施設改修工事や景気低迷の影響を受けたことが要因となっています。又、障害者対象の施設については、利用者の体調不良や高齢化に伴い毎日の通所が困難になってきていることから減少していると考えられます。今後は、利用者数を取り戻していけるような事業展開を図り前向きに努めていきます。
- ・利用者数が増加した北山公園、あたご天狗の森スカイロッジについては、新たな事業を実施した結果と思えます。今後も継続して魅力のある事業を実施し利用者増に繋がるよう努めていきます。

(2) 事業収支に関すること【効率的運営について】

- ・収支のバランスを保ち適正に業務遂行を実施していますが、更なる効率的な運営や収入増加に繋がるような事業実施を図るようにします。
- ・笠間クラインガルテン、北山公園、あたご天狗の森スカイロッジについては、管理維持経費の節減が出来るよう経営における運営方法を見直していきます。

(3) 業務実績に関すること【活動状況について】

- ・利用者数増に繋げるための事業の実施、経費削減の見直し、インターネットやマスコミを利用した情報発信、利用者アンケート実施によるサービスの向上、従業員間のミーティング実施による意識改革、市と指定管理者間の定例会議実施による運営内容の改善を図る等、各施設において様々な取り組みを行いました。今後も更なる施設運営の向上を図るために計画的に事業を実施していきます。

(4) 利用者の声に関すること【利用者の評価について】

- ・全施設において、アンケートボックスの設置、利用者との意見交換会や聞き取り調査等を実施し、利用者の要望・苦情についての対応を迅速・適切に行いサービスの向上に努めました。
- ・要望・苦情ばかりではなく、好意的な評価も多くあるので、今後も継続して最善のサービスを提供できるよう心がけていきます。

(5) 施設所管課の総評について

- ・指定管理者の経営努力の結果、利用者数が目標数値に近づいた施設については評価できるので、引き続き効果的・効率的な管理運営を継続していただきたい。

・利用者の減少や収支がマイナスの結果となった施設については、これまでの管理運営方法を改善し計画性のある事業の実施や職員の意識向上を図り、更なる目標に向かった管理運営を遂行していただきたい。

3. その他（モニタリング制度について）

平成20年度から、指定管理者による業務について、条例・協定書等に従い適切かつ確実なサービスの提供が確保されているかを確認する手段として、モニタリング制度を導入し安定的・継続的にサービスを提供することが可能であるか監視するチェック体制を整えました。

この制度に基づき、各施設所管課は、指定管理者からの事業報告書等の内容確認を行うとともに施設への立入により評価を行い業務遂行状況の監視を強化するようにしました。

その結果、平成20年度においては、サービス向上を図るための利用者アンケート実施、従業員の意識改革の取り組み、施設所管課と指定管理者との定期的な調整会議の実施等、施設運営を更に向上させようとする新たな取り組みが生まれてきました。

この意欲を無駄にせず、今後も、指定管理者制度導入施設のサービス水準を高めるために、モニタリング制度を更に確立させ指定管理者制度を適正に運用させていきます。

平成20年度分公の施設指定管理者実績報告の調査結果について

施設 の 名 称	【 指 定 管 理 者 の 自 己 評 価 】		【 利 用 者 の 声 】 ⇒ 対 応 策 等	【 施 設 所 管 課 の 総 評 】 業 務 実 績 ・ 評 価
	運 営 状 況	業 務 実 績 ・ 自 己 評 価		
①笠間駅北口自転車駐車場 ②笠間駅北口駐車場 【指定管理者】 (社)笠間観光協会 《非公募》 【指定期間】 19.4.1～22.3.31 (19.4.1～導入開始) 【設置目的】 ・市民及び観光客の利便に資することを目的とする。 ・駅周辺の環境整備を図るとともに、自転車利用者の利便に資することを目的とする。	年間利用台数	対前年比	指定管理に関する協定に基づき業務を適正に行った。 係員が常駐して利用者からの声を聞く態勢は整えているが、苦情、要望については特になし。	【市民活動課】 業務内容に基づき適正に業務を遂行している。
	【自動車】			
	月極延 577 台	99.1%		
	一時 4,112 台	96.1%		
	【自転車】			
	月極延 2,036 台	93.3%		
	一時 6,881 台	106.1%		
	【バイク】			
	月極延 94 台	154.1%		
	一時 383 台	74.5%		
	指定管理者の事業収支			
収入 (指定管理料)	前年と同額			
2,908千円				
支出 (管理運営経費)	前年と同額			
2,908千円				
収支	0円	前年収支 0円		
利用料合計	対前年比			
8,526千円	97.3%			
利用料金制度導入していないので市の収入となる。				
	市の収支			
収入	8,526千円			
支出	2,908千円			
収支	5,618千円	前年の市の収支		
		5,856千円		

施設の名 称	【 指 定 管 理 者 の 自 己 評 価 】		【 利 用 者 の 声 】 ⇒ 対 応 策 等	【 施 設 所 管 課 の 総 評 】 業 務 実 績 ・ 評 価
	運 営 状 況	業 務 実 績 ・ 自 己 評 価		
③稲田駅前自転車駐車場 ④稲田駅前駐車場 ⑤福原駅前駐車場 【指定管理者】 JROB会 《非公募》 【指定期間】 19.4.1～22.3.31 (19.4.1～導入開始) 【設置目的】 ・市民及び観光客の利便に資することを目的とする。 ・駅周辺の環境整備を図るとともに、自転車利用者の利便に資することを目的とする。	年間利用台数 <稲田駅> 【自動車】 月極延 149 台 一時 2,519 台 【自転車】 月極延 269 台 一時 1,182 台 【バイク】 月極延 18 台 一時 194 台 <福原駅> 【自動車】 月極延 88 台 一時 5,192 台	対前年比 112.0% 109.9% 103.1% 83.4% 54.5% 116.9% 83.8% 105.0%	指定管理に関する協定に基づき業務を適正に行った。 係員が常駐して利用者からの声を聞く態勢は整えているが、苦情、要望については特になし。	【市民活動課】 業務内容に基づき適正に業務を遂行している。
	指定管理者の事業収支			
	収入 (指定管理料) 2,866千円	前年と同額		
	支出 (管理運営経費) 2,866千円	前年と同額		
	収支 0円	前年収支 0円		
	利用料合計 3,117千円 利用料金制度導入していないので市の収入となる。	対前年比 98.1%		
	市の収支			
	収入 3,117千円 支出 2,866千円 収支 251千円	前年の市の収支 311千円		

施設 の 名 称	【 指 定 管 理 者 の 自 己 評 価 】			【 利 用 者 の 声 】 ⇒ 対 応 策 等	【 施 設 所 管 課 の 総 評 】 業 務 実 績 ・ 評 価
	運 営 状 況		業 務 実 績 ・ 自 己 評 価		
⑥笠間市障害者福祉センターともべ 【指定管理者】 《非公募》 (社)笠間市社会福祉協議会 【指定期間】 20.4.1～25.3.31 (18.9.1～導入開始) 【設置目的】 ・市内に居住する心身障害者社会参加を図ることを目的とする。	利用者 21人	前年23人	時期的に作業が途切れることがあるので、年間を通して作業訓練が継続できるように作業の依頼者を探す必要がある ・作業訓練(空き缶回収, 銀杏拾い, 封筒点字作業, 商品梱包, チラシ袋入れ, クッキー・野菜・花壇作り等) ・生活訓練(調理実習, 買い物学習, 習字, 生花, 陶芸, ミュージックケア等) ・行事, レクリエーション(一人暮らし高齢者との食事会, 各種団体との交流会, 音楽鑑賞, 味噌作り, 市の行事参加等) ・健康指導(歯科衛生指導, 住民健診, 保健師・栄養士指導, 体操等)	訓練に対し出来ないことを諦めないで積極的に取り組む姿勢を指導してほしい。 ⇒業者からの委託作業など責任を伴う仕事だが, 極力通所者本人に出来そうな作業を探し取り組めるように努力する。 毎日の通所が楽しい, 作業が出来てうれしい等の喜びの声もある。	【社会福祉課】 地域生活支援センターとして障害者の社会参加の場として重要な役割を果たしている。 作業訓練や生活訓練を通じて, 自立した社会生活ができるように今後も支援していただきたい。 会計処理も適切に行われ, 経費節減にも努めている。 作業訓練については, 作業依頼が少なくなってきたことなので作業をまわしてもらえようPRしていくことも重要と思える。
	年間延利用者数 4,998人	対前年比 90.3%			
	指定管理者の事業収支				
	収入 (指定管理料) 19,195千円 (参加費) 51千円 (収入計) 19,246千円	対前年比 105.5% 前年なし 対前年比 105.1%			
支出 (管理運営経費) 19,246千円	対前年比 105.1% 効果的運営を図るため人員調整を行なったことにより人件費の増加。				
収支	0円	前年収支 0円			

施設 の 名 称	【 指 定 管 理 者 の 自 己 評 価 】		【 利 用 者 の 声 】 ⇒ 対 応 策 等	【 施 設 所 管 課 の 総 評 】 業 務 実 績 ・ 評 価
	運 営 状 況			
⑦笠間市地域福祉センター 「笠間市友部社会福祉会館」 【指定管理者】 《公募》 (社)笠間市社会福祉協議会 【指定期間】 20.4.1～25.3.31 (18.9.1～導入開始) 【設置目的】 ・地域における福祉活動の拠点として、地域住民の福祉ニーズに応じた活動、福祉情報の提供等を総合的に行い、福祉の増進及び福祉意識の高揚を図る。	年間延利用者数 27,269人 (1日平均79人)	対前年比 73.3% 8～11月の改修工事の影響により利用者数減少。	市民の福祉活動の拠点として多くの方に利用されている調理室や和室の改修を行い、利用者やボランティア活動の利便性を図り更なるサービス向上を行った。 ・各種相談・入浴や給食等の福祉サービス・機能回復訓練・創作活動・ボランティアの養成・福祉情報の提供等	【社会福祉課】 今後も福祉活動の拠点として利用される市民の方々の安全面や環境面を考慮し、効率的な運営を確保していただきたい。
	指定管理者の事業収支			
	収入 (指定管理料) 18,637千円	対前年比 76.1%		
	支出 (管理運営経費) 18,637千円	対前年比 76.1% 改修工事の影響等により管理運営経費減額。		
収支 0円	前年収支 0円			

施設 の 名 称	【 指 定 管 理 者 の 自 己 評 価 】		【 利 用 者 の 声 】 ⇒ 対 応 策 等	【 施 設 所 管 課 の 総 評 】 業 務 実 績 ・ 評 価
	運 営 状 況			
⑧笠間市いこいの家 「はなさか」 【指定管理者】 《公募》 (社)笠間市社会福祉協議会 【指定期間】 20.4.1～23.3.31 (18.9.1～導入開始) 【設置目的】 ・住民の健康増進や地域の交流など住民の癒しの場として便宜を総合的に供与し、もって福祉の増進を図るため。	年間延利用者数 71,435人 (1日平均242人)	対前年比 82.8% 景気低迷の影響により利用者減少。	ポイントカードの発行を行い、集客率向上を図った。 市内全域に巡回バスの運行を開始し、利用者の増を図った。 カラオケの音量が大きい。 ⇒他の施設を参考に、より良い施設運営を目指し前向きに接客していきたい。 景色が良く、お風呂が最高でした。 従業員の接待・態度が良い。 ⇒お客様同士が心地よく触れ合いの場を確保できるようにサービスを提供していく。	【社会福祉課】 重油高騰等の影響を受けたが、支配人を中心に職員らの努力が伺えた。 利用客の減少がみられたことは改善すべき点であり、今後は更なる市民サービスの提供に努め、安全管理・衛生管理に細心の注意を払うことはもちろんのこと、入浴以外の部分でも特色を持ち、付加価値をつけた事業に取り組み、安定した利用客の確保に努めていただきたい。
	指 定 管 理 者 の 事 業 収 支			
	収入			
	(指定管理料)	対前年比 114.7%		
	(利用料)	利用料金制度導入 対前年比 101.2%		
(売店収入等)	対前年比 96.2%			
(その他収入額)	前年なし			
(収入計)	対前年比 109.5%			
支出				
(管理運営経費)	対前年比 109.5% 重油高騰等の影響を受け燃料費の増加。			
収支	0円	前年収支 0円		

施設 の 名 称	【 指 定 管 理 者 の 自 己 評 価 】		【 利 用 者 の 声 】 ⇒ 対 応 策 等	【 施 設 所 管 課 の 総 評 】 業 務 実 績 ・ 評 価	
	運 営 状 況				業 務 実 績 ・ 自 己 評 価
⑨笠間市障害者福祉センター 一いわま 【指定管理者】 《非公募》 (社)笠間市社会福祉協議会 【指定期間】 20.4.1～25.3.31 (18.9.1～導入開始) 【設置目的】 ・障害者の生活訓練，作業訓練， 機能訓練，相談事業を通し，将 来に向けて障害者の就労意欲の 向上及び社会参加の促進に寄与 する。	利用者 7人	前年9人	就職の後押しを行って いた通所生3名が就 職することが出来た。 新規在宅障害者の通 所があり，社会参加と生 活のリズム作りに役立 っている。 ・作業訓練(商品梱包，空 き缶回収，電機部品の組 み立て作業，プラスチック 製品のバリ取り，クッ キー・野菜・花壇作り等) ・生活訓練(清掃，調理実 習，買い物学習，屋外研 修等) ・行事，レクリエーション (交流会，スポーツレク リエーション，映画鑑 賞，果物狩り，市の行事 参加等)	【岩間支所福祉課】 通所生3名(男2名，女1 名)が民間事業所(水戸市，笠 間地区)に就職が出来たこと は，これまでの訓練の成果と 評価できる。 今後も引き続き，新規通所 生のひきこもり防止，社会参 加への適応力の向上，日常生 活の改善等に取り組んで成 果を出していただきたい。	
	年間延利用者数 1,652人	対前年比 78.1%			利用者の就職決 定に伴い利用者 数減少。
	指定管理者の事業収支				
	収入 (指定管理料) 6,665千円	対前年比 98.3%			
支出 (管理運営経費) 6,665千円	対前年比 98.3%	効率的な人員調 整を図り管理運 営費の減額。			
収支 0円	前年収支 0円				

施設 の 名 称	【 指 定 管 理 者 の 自 己 評 価 】		【 利 用 者 の 声 】 ⇒ 対 応 策 等	【 施 設 所 管 課 の 総 評 】 業 務 実 績 ・ 評 価		
	運 営 状 況				業 務 実 績 ・ 自 己 評 価	
⑩笠間市福祉センター「いわま」 【指定管理者】 《公募》 (社)笠間市社会福祉協議会 【指定期間】 20. 4. 1～25. 3. 31 (18. 9. 1～導入開始) 【設置目的】 ・高齢者の各種相談に応ずると共に健康の増進教養の向上及びレクリエーション等の便宜を総合的に供与し、健康で明るい生活を営ませ、伴わせて地域福祉の向上を図る。	年間延利用者数 6,432人 (1日平均29人)	対前年比 94.9% 8月の改修工事により利用者数減少。	給湯配管工事に伴う利用者の減、及び定期的に利用していたクラブの活動停止により、利用者数が減少した。 業務委託費の減については、シルバー人材への委託時間の見直しにより短縮したためである。 当センター利用の事業において大学の落語研究会が好評を得たので、今後は当センター事業としても活用し、利用者の増と活発な事業活動を図っていく。	浴室の給湯配管の老朽化による湯及びシャワー等の苦情が多く寄せられた。 ⇒配管改修工事を行い改善された。 昼食の斡旋、提供を行ってほしい。 ⇒一般開放日の軽食提供については、21年度中には実施できるようにし、合わせて周知活動も行っていきたい。	【岩間支所福祉課】 20年度は利用者が減少したので、新たな企画(食事の提供・バスの運行)を行い利用者の増を図ること。 引き続き業務内容に基づき、経費の節減に努力し適正な管理運営を遂行していただきたい。	
	指定管理者の事業収支					業 務 実 績 ・ 自 己 評 価
	収入 (指定管理料) 10,546千円	対前年比 89.2%				
	(利用料等) 1,167千円	利用料金制度導入 対前年比 96.6%				
	(収入計) 11,713千円	対前年比 90.0%				
支出(管理運営経費) 11,713千円	対前年比 90.0%	効率的な人員配置を図り業務委託費を減額。				
収支	0円	前年収支 0円				

施設 の 名 称	【 指 定 管 理 者 の 自 己 評 価 】		【 利 用 者 の 声 】 ⇒ 対 応 策 等	【 施 設 所 管 課 の 総 評 】 業 務 実 績 ・ 評 価
	運 営 状 況	業 務 実 績 ・ 自 己 評 価		
⑪笠間クラインガルテン <農園施設> 【指定管理者】 《非公募》 茨城中央農業協同組合 【指定期間】 19.4.1～21.3.31 (19.4.1～導入開始) 【設置目的】 ・地域住民と観光農業の振興及び 市民と都市住民との交流を図 る。	農園利用契約者数 99人 (簡易宿泊施設利用者50人 日帰り農園利用者49人)	対前年比 102.1% 農園利用率は ほぼ100%達 成している。	<農園施設> 利用者との意見交換会を開催 した。 ・夏場ラウベ室内が高温にな るため対処を願う。 ⇒ラウベ内の熱を排出でき るように各ラウベに換気扇 を設置した。 ・JA取扱いの農業資材を手 軽に購入できるようにしてほ しい。 ⇒農産物販売所を通して農 業資材を販売できるように 注文書を作成し、利用者の 利便性を図った。 ・生活ごみを収集してほしい。 野菜くずの堆肥化施設を設置 してほしい。 ⇒ごみ集積所、堆肥化施設 は費用もかかるため、要望 を精査し設置を検討する。 農園の利用率はほぼ10 0%であり、利用者から満足し ているとの声も多かった。	【農政課（農政企画室）】 利用者との意見交換会によ る意見・要望に基づいて施設 の修繕を実施する等、利用者 へのサービス充実に向けて取 り組んだ。 今後も利用者に対してマン ネリ化しないイベントの企画 や運営内容の充実に努め、利 用率100%を維持していた だきたい。
	クラブハウスの利用回 数 676回	対前年比 92.2%		
	延利用者数 11,102人 (1日当り2.2回, 36人)	対前年比 95.0%		
	指定管理者の事業収支			
	収入 (指定管理料) なし (農園利用料等) 21,386千円 (収入計) 21,386千円	利用料金制度導入 対前年比 99.6% 対前年比 99.6%		
支出 (管理運営経費) 21,327千円	対前年比 101.8%			
収支 59千円	前年収支 509千円			

施設の名 称	【 指 定 管 理 者 の 自 己 評 価 】		【 利 用 者 の 声 】 ⇒ 対 応 策 等	【 施 設 所 管 課 の 総 評 】 業 務 実 績 ・ 評 価	
	運 営 状 況	業 務 実 績 ・ 自 己 評 価			
<農産物販売所・そば処外> 【指定管理者】 《非公募》 茨城中央農業協同組合 【指定期間】 18.3.1～21.3.31 (18.3.1～導入開始) 【設置目的】 ・地域農業と観光農業の振興及び 市民と都市住民との交流を図 る。	年間延利用者数 46,132人 (1日平均147人)	対前年比 85.8% 他のJA直売所 への客の流出, イベント開催数 の減少に伴い減 少。	<農産物販売所> 地域内農産物100% の品揃えを目指し、仕入 れ品の削減を図り、JA 農産物直売所の他店舗と の連携による品揃えに取 り組んだ。 顧客感謝祭(7月・12 月)を実施し、集客促進を 図った。 農業体験の開催による PR活動を実施した。(い ちご狩り・ブルーベリー狩 り) JA観光と連携した農 業体験を開催した。(田植 え・稲刈り・ジャム加工・ きのこ狩り)	<農産物販売所> 品揃えが不十分である。 ⇒JA他店舗の直売所と連 携し、品揃えの充実に取組 んだ。 加工品の値札、商品説明の表 示が不十分である。 ⇒陳列棚の配置換え、商品説 明のポップ類の充実に取組 んだ。 入店の際の店員のあいさつ が不十分である。 ⇒従業員の意識向上を図る ため毎週ミーティングを実 施した。また、従業員の先進 地研修を実施した。	【農政課(農政企画室)】 前年度に比べ販売収入が大 幅なマイナスとなった。農産 物直売所の他店舗への客の流 出も要因と考えられるが、独 自の特長を生かし全体的な集 客力を高めてほしい。 イベント開催が前年度に比 べ減っているのので、今後は年 間を通じた計画的なイベント の開催・PR手法の検討に力 を入れ集客率を上げていただ きたい。
	指定管理者の事業収支				
	収入 (指定管理料) なし (販売額等) 47,068千円 (収入計) 47,068千円	利用料金制度導入 対前年比 76.7% 対前年比 76.7%			
	管理運営経費 49,011千円	対前年比 77.1%			
	収支 △1,943千円	前年収支 △2,182千円			
	集客促進を図るための取組みを行っ たが、販売収入が大幅に減少した。 要因として、旧笠間市街のJA農産物直 売所新店舗の影響も大きいと考えられ る。		<そば処> 営業時間外の従業員ミ ーティングにより新メニ ューの開発に取り組んだ。 そば打ち体験の受入れ を実施した。 顧客の要望を把握するた め各テーブルにアンケ ートボックスを設置した。	<そば処> 注文してから出てくるま での時間がかかる。 ⇒混雑が予想されるイベ ント開催時はサイドメニ ューの提供を削減し、そば類の迅 速な提供に努めた。 入店の際の店員の挨拶が不 十分である。 ⇒従業員の意識向上を図る ため、毎週ミーティングを実 施した。また、先進地研修を 実施した。	

施設 の 名 称	【 指 定 管 理 者 の 自 己 評 価 】		【 利 用 者 の 声 】 ⇒ 対 応 策 等	【 施 設 所 管 課 の 総 評 】 業 務 実 績 ・ 評 価
	運 営 状 況	業 務 実 績 ・ 自 己 評 価		
⑫北山公園 【指定管理者】 《公募》 笠間市造園建設業協同組合 【指定期間】 20. 4. 1～23. 3. 31 (18. 9. 1～導入開始) 【設置目的】 ・市民が自然に親しみつつ、観光レクリエーション及びスポーツ活動を行う余暇施設	年間延利用者数 169,403人 (1日平均476人)	対前年比 145.3% 広く情報発信したことによる知名度アップで利用者増加。	危険枯木の伐採 ⇒高所作業車等による危険枯木の伐採処分、ゴミ収集車による伐採放置木の処理を実施した。 スズメバチ対策 ⇒巣を撤去すると共に、ペットボトル利用による捕蜂を実施した。 湿生生態園の管理 ⇒次年度改善に向けた湿生植物の生育環境調査を実施した。 公園管理棟内にアンケートボックスを設置し随時回収しているが、要望・苦情等はこの外にも多数あり、その都度適切に処理を行っている。 トイレや園路等がきれいになった、スタッフの対応が良くなった等の意見もあった。	【商工観光課】 指定管理者の持つ専門知識や技術を活かし、来園者が公園内で安全かつ満足して利用できるよう高所作業車による危険木等の伐採や水生植物の試験施工を実施や桜祭り等のイベントへの積極的な協力・支援を行った。又、ホームページを作成し施設利用の予約を可能とし利便性・利用率共に向上させた。 要望・苦情についても適切に処理を行いサービス向上に努めた。 今後も利用者増を図るため、関係団体と連携し、北山公園の有効活用策を検討していただきたい。
	指定管理者の事業収支			
	収入 (指定管理料) 15,600千円	対前年比 263.6%		
	(利用料) 393千円	前年なし		
	(収入計) 15,993千円	対前年比 270.2%		
	支出 (管理運営経費) 16,482千円	対前年比 278.5%		
収支 △489千円	前年収支 0円			
施設の機能や素材を最大限に活かすために、専門的知識・資格の活用やこれまでの経験からの植生管理を活かせる等の積極的な企画提案を示した指定管理者へ指定変更したことにより指定管理料が増加した。		新たな企画を計画的に実施した。 ・市民参加によるモミジ・サルスベリ等の植樹体験ができる「寺子屋」植樹会を実施した。 ・ホームページ開設により広く情報発信ができた。また、ホームページ上から施設の予約が可能となり利用者が増加した。 ・アンケートボックスを設置しサービス向上に努めた。		

施設 の 名 称	【 指 定 管 理 者 の 自 己 評 価 】		【 利 用 者 の 声 】 ⇒ 対 応 策 等	【 施 設 所 管 課 の 総 評 】 業 務 実 績 ・ 評 価
	運 営 状 況	業 務 実 績 ・ 自 己 評 価		
⑬あ だ ち 天 狗 の 森 ス カ イ ロ ッ ジ 【 指 定 管 理 者 】 (社) 笠 間 観 光 協 会 《 公 募 》 【 指 定 期 間 】 1 9 . 4 . 1 ~ 2 4 . 3 . 3 1 (1 6 . 4 . 1 ~ 導 入 開 始) 【 設 置 目 的 】 ・ 地 域 住 民 及 び 観 光 レ ク リ エ ー シ ョ ン の 振 興 に 資 す る 。	年 間 延 利 用 者 数 9 , 2 2 8 人 (1 日 平 均 2 5 人)	対 前 年 比 1 0 9 . 1 % 新 規 事 業 に よ り 利 用 者 増 加 。	公 営 に し て は 料 金 が 高 め 。 県 民 ・ 市 民 の た め の 特 典 や 割 引 が あ っ て も よ い の で は 。 ⇒ 平 日 料 金 を 約 1 割 下 げ , 平 日 朝 食 サ ー ビ ス を 開 始 し た 。 ⇒ 合 併 日 を 笠 間 市 民 の 日 と し て 市 民 対 象 の 割 引 を 実 施 し た 。 ⇒ 会 員 数 が 多 く P R 効 果 が 高 い と 考 え ら れ る 団 体 等 に 対 し て 会 員 割 引 を 実 施 し た 。	【 商 工 観 光 課 】 2 0 年 度 か ら 利 用 料 は 指 定 管 理 者 の 収 入 と し た 結 果 , 利 用 料 が 前 年 度 よ り 1 2 0 万 円 増 と な っ た こ と は , 指 定 管 理 者 の 経 営 努 力 に よ る こ と と 評 価 で き る 。 今 後 も 観 光 協 会 収 益 事 業 の 拠 点 施 設 と し て 稼 働 率 向 上 に 努 め る よ う お 願 い し た い 。
	指 定 管 理 者 の 事 業 収 支			
	収 入 (指 定 管 理 料) な し			
	(利 用 料 ・ 諸 収 入) 2 8 , 6 4 2 千 円	利 用 料 金 制 度 導 入 対 前 年 比 1 0 6 . 1 %		
	(収 入 計) 2 8 , 6 4 2 千 円	対 前 年 比 1 0 6 . 1 % 新 規 事 業 に よ り 利 用 料 増 加 。		
支 出 (管 理 運 営 経 費) 2 8 , 4 4 9 千 円	対 前 年 比 1 0 5 . 4 %			
収 支 1 9 3 千 円	前 年 収 支 0 円			

施設 の 名 称	【 指 定 管 理 者 の 自 己 評 価 】		【 利 用 者 の 声 】 ⇒ 対 応 策 等	【 施 設 所 管 課 の 総 評 】 業 務 実 績 ・ 評 価
	運 営 状 況			
⑭笠間工芸の丘 【指定管理者】 笠間工芸の丘（株） 《非公募》 【指定期間】 18. 3. 1～28. 3. 31 (18. 3. 1～導入開始) 【設置目的】 ・地場産業と観光の振興を図るため設置。	年間延利用者数 235,000人 (1日平均761人)	対前年比 106.8%	笠間市の中核施設として評価される運営を行うことを目標に積極的な営業活動を展開した。 特に、北関東自動車道が東北自動車道と接続したことから栃木・群馬方面の営業活動を強化した。 高額商品の動きが低迷している中、様々な企画展を開催した。 新聞・雑誌への宣伝やホームページの活用、学校・福祉施設への出張陶芸体験の取組みや県内の小学校・幼稚園・保育所への案内状送付等、利用者拡大に努めた。	【商工観光課】 笠間焼の販売が低迷する中、常陽藝文センター等の様々な場所で笠間焼の展示・販売を行い、笠間焼の振興に寄与した。 20年度から植栽管理についても指定管理業務としたが、施設を統一して管理することによって行き届いた植栽管理が出来た。
	指 定 管 理 者 の 事 業 収 支			
	収入 (指定管理料) 9,500千円	前年なし 業務範囲拡大に今年度より増加		
	(売上高) 235,434千円	利用料金制度導入 対前年比 99.6%		
	(収入計) 244,934千円	対前年比 99.6%		
支出 (管理運営経費) 244,459千円	対前年比 102.3% 業務範囲拡大により手数料増加。			
当期利益 475千円	前期利益 7,126千円 当期は高額商品の動きが低迷し売上が減少。 (対前期比 △6,651千円)			

施設の名 称	【 指 定 管 理 者 の 自 己 評 価 】		【 利 用 者 の 声 】 ⇒ 対 応 策 等	【 施 設 所 管 課 の 総 評 】 業 務 実 績 ・ 評 価
	運 営 状 況	業 務 実 績 ・ 自 己 評 価		
⑮笠間市総合公園 ⑯笠間市民体育館 ⑰笠間市岩間総合運動公園 ⑱笠間市笠間武道館 ㉑笠間市岩間海洋センター ㉒石井街区公園 【指定管理者】 (株) 日立ライフ 《公募》 【指定期間】 20. 4. 1～25. 3. 31 ※20. 4. 1～導入開始 【設置目的】 ・市民の体育，スポーツの振興を 図るとともに，スポーツ以外の 各種行事等の利用促進を図るこ とを目的とする。	年間延利用者数 125,407人 (対前年比) 94.9%	市民球場 7,120人 多目的広場 4,106人 芝生広場 7,655人 テニスコート 9,774人 管理棟会議室 1,218人 海洋センター 16,208人 海洋センタープール 3,107人 岩間総合運動公園 19,285人 市民体育館 40,609人 笠間武道館 16,325人	ゴミのない施設整備 に努めた。 組織体系図を作成し， 密に定例会議を実施し た。 工作物の保守管理に 努めた。 緊急連絡先の掲示を 行い，AEDや接遇の講 習を受講した。 個人情報保護に関す る講習を実施した。 アンケートを実施し た。 グラウンドゴルフ大 会を開催した。 各種のスポーツ教室 を開催した。	【スポーツ振興課】 公の施設の維持管理と施 設の安全確保を行っており， 概ね問題ない。 公の施設の維持管理を適 切に実施し，より一層サービ スの向上に努めるようお願い したい。 市民へのスポーツ振興策 (スポーツ教室等)をより拡 充して活動をしていただき たい。 スポーツ教室参加者の要望 が多数あった。 ・回数を増やして欲しい・常 時主催して欲しい・指導が 丁寧で分かりやすい等 利用方法を分かりやすく広 報して欲しい。 ⇒施設の利用の情報をホー ムページに掲載する。 借用手続きが楽に出来るよう にして欲しい。 ⇒下履きのまま玄関で受付 ができるようにした。 ゴミ箱があると良い。テニス コートの砂が多い。 ⇒備品等の不備については 早急に改善を図った。
	指定管理者の事業収支			
	収入 (指定管理料) 63,540千円 (利用料等) 5,003千円 (収入計) 68,543千円	利用料金制度導入		
	支出 (管理運営経費) 63,412千円 (約20,000千円減)	前年(市の直営 時)管理運営経費 84,406千円		
	収支 5,131千円			